曹洞宗青年会 東京都港区2-5-2

TEL 454-5411(ft)

石附周行

社会的価値ある活動をしょう 青年宗侶のエネルギーを結集しょう

成長しているケースは多く、やが

我々の青年会の活動の場は宗務

編集発行人

地域における活動の連携を深めよう 青年宗侶の自覚を促そう

通 尼察



の接点を求めて」を中心に活動が一層をみながらも、前会長、門脇允

ながら、メインテーマ「大衆教化」のであるが、内外共に幾つかの矛」とは論を特たないところである。 歩経過し、新しい教化論を模索し | の運動理念の追求がなされてきた | 残し、宗門に一灯を投ぜられたと | 参画してもらうよう働きかける方 曹洞宗青年会が発足して一年半 いて、我々の組織の拡大充実と会 | 大会―― 落足という不滅の足跡を | を汲み入れながら全曹青の活動に 一元師の努力は発起人大会から結成 | わる才南のいくつかを整理しなが | とこに、発足以来、内外にかか

所存である。 運動のエネルギーに上揚していく ととによって、それを青年宗侶の | 矛盾の現実を直視し、むしろその | 参加とメリットの議論は断えない と理想実現に様々な試行錯誤と繰しを提起されながら、活動されてい り返しが予想されるのであるが、

ける単位曹青 (地域曹青) とのか まず第一に組織の拡大充実にお

青との話し合いの場において解明

これは、今後、全曹青を単位曹一の自覚と社会性である。

ないことは明らかであるが、連携 現存の単位曹青を集約する主旨で し、地域における活動の連携を深 る「青年宗侶のエネルギーを結婚 かわりである。全曹青の目標であ のかかわりにおいて、素敵に同化 めよう」とされる方針が、活発に こきない 地域 弦的 問題 て まる 治動されている 現存の単位曹青と 士一年度総会を東京・宗務庁大会

おそまきのながら結成された全曹一る。宗教人としてあるべき姿は、教一年半の活動が真にささえられてき 年宗侶のエネルギーを結集して、 祭務庁の教化部長である佐藤正道 | にし、とれならばやれると確信し および予算案を中心に審議した。 総会は、開会式にひきつづき、 素晴しいエネルギーをまのあたり

青を全曹青の支部とすることが望

| 組織の拡大につとめてもきてい

ましい」と巌決され、地域の事情 | 青も、 | 年半がすぎ、徐々に各地 | 化が第一であり、宗門の教化、両祖 | たととをまずもって 感謝 してい 長は、「各地の皆さんの努力で一 つづいて挨拶にたった、門脳会

昭和52年度総会終る 前会長門脇君顧問

全曹清の会則に個人登録とされ 議場に招集、全国から参加の会員 も思われた、韓国仏教文化交流使 した弁道がなければならない。我 と共に昭和五十一年度の事業計画 | 節団を派遣し、その交流の実をあ | 々のような老人には腹度がある。 去る五月二十日、全曹青昭和五 | で会員を確得し、同時に、宗務当 | の道にのっとり、世間に宣布する 局からみれば、荷のかちすぎるとしとの基本は、我々の道心をもとに けた。名誉団長として私も随行し | 青年宗侶各位の弁道精進によって 年会員を激励した。 宗門を進展せしめて欲しい』と青 なう挨拶を行なった。

案を承認した。 を成立させて、執行部提出の全談 議長に選出、十時四十五分、総会 山義明君、愛知県山内光昭君を副

(関連三面)

え、将来の展望をつかもうとした らず実ったといえる。現実をふま 従前に比して大勢の参加者をみて これまでの各位の努力は、少なか 全曹青に対する理解も広まり

の鈴木永城君を議長に、京都府大 めていきたい」と任期満了にとも 己研鑚テーマを今後も深くつきつ "大衆教化の接点を求めて"の自 続いて審議事項に移り、埼玉県

卒。両大本山安居。群馬曹青会長· 全曹青副会長などを歴任 昭和十二年五月生。群馬県雙井 略歷

教化の最前線に立 試行錯誤の中からの出発 全曹青会長 石 附

周

行

る形となった門脇前会長は、顧問に選任された。新年度の活動を開始するに際し石附周行 十二年度の活動方針は前年度の拡大路襲のためもあって石附周行君など前役員中心に執行 部を選出した。なお再選の声が高まるなか、人心一新、人材登用を理由に後進に席をゆず なう改選時期でもあるため、注目を集めていたが、理事会、評議員会で審議された昭和五 新会長は全曹青活動の方針と展望と難して本紙に所信を表明した。 全曹青の昭和五十二年度総会は設立当初からの会長門勝允元君ら役員の任期第了にとも

り、本年度のメインテーマにサブ

掲示板設置運動」はその提案であ 発展解明の道であろうと思うので 結集された英智とエネルギーこそ 割があり、全国からの青年宗侶の の一歩前進への起爆剤としての役 ない場合が多いのである。 進めようと模索しつつ、解明を得 ら時代変遷にともなう教化へ一歩 ないように、単位曹青が 地 城 で 始めて未だ明確な方途を見出し得 示門が大衆教化教団への道を歩み に入る格好の場と考えられるが、 所単位ほどの地域でとそ大衆の山 て大きな力となって発展してきた 青年会から宗務所単位の青年会に されている単位曹青も教区単位の

もちながら「地方巡回教養セミナ」

よりいっそう前進する計画であり | しての発心ではなかったろうか

1」を開催してきたが、日本仏教

発足当初より展開された「伝道

針を打圧している。 その試行なのである。 ードにむすぶ茶と禅のつどい」も 法論の第一弾としての「シルクロ ティーの場に」に対する具体的方 タイトルとした「お寺をコミュニ

| 々が直面している問題解明の糸口 藤と祈りの跡をたどりながら、我 に立ち生きた先人たちの苦悩と葛

◇新しい教化論の確立と実践◇ 点を見出させるつどいとしたい。 全曹青の各種事業の中核となって

我々とそ地域に実践の場を持ち、 的性格をみるのである。それは、

最後に全曹青の基本的性格にふ │ 机論でなく現場の一員だからである。

営は道二角型の方途を打出 場はあるであろうか。全曹青の測 において、祭門ではたして大衆の

くとととて、最前線の教化者とし

的価値ある活動の今日的問題の原

しかしながら、とれで総て解決|携の意図するところなのである。 ◇連動理念と禅のつどい◇ 的なものが地域においてアレンヂ であるが、これは目標の中に「青 され生かされたとされるならば連 新しい事業開発をめざした実験

動」を提唱しているように、時代 に生きた大衆の中の教化者として 年宗侶の自覚と社会的価値ある活 次に、全曹海の運動理念の問題一てことことく全曹海の意義を目的 を発見しょうと実施されてきた。 とのセミナーは多大の成果を収

されたわけでなく、総会あるいは

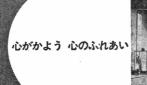
る単位曹青ほど深刻な問題として

過去、四回にわたってメインテ 一交流、青年宗侶の親睦と自己確認 大と充実、単位曹青相互の連帯と ネルギーの結果となって組織の拡 を広く訴えて贅局をえ、同志のエ め、地域における青年会を母体と の場として前進がなされたとみて 年会がこれを契機として誕生した しての集会、あるいは未組織の青 よいであろう。 ケースもあった。この集会におい れなければならない。それは宗門一る。我々が大衆に接し得ない限り 数えきれないものがある。その中 いは消滅していった例は、過去に 種々なる会が発足し発展しある に青年会という名称の相異はあれ

されていくべきであろうが、活躍「ーマに基づき阜位曹青との連携を「「本年度は、未開催地域を中心に「でなく、自主的で自分達の問題と」大衆と共に生きる用意はあるのか ろうか。つまり、青年宗侶のほのほ って活躍し足跡を残しているもの とらえながら、上意下達的なもの のとした情熱が新しい教化活動を 地域における青年会ではなかった は「禅のつどい運動」を展開した において、現然として長期にわた ての性格ができあがるものと信ず るのである

全青曹の発展と数化の実践の中に 明していくか。数化の対象である のもつ出家教団的性格を如何に解 な問題がないわけではない。宗門 教化という言葉の中にはさまざま しかしながら、我宗門において

承認事項で終始したのは誠に残念 ととである。 求められていかなければならない 制度の中のみでの命脈でなく、 論議をもたない会は発展しないし 議する場面と工夫が必要であろう であり、今後、本質的な問題を論 なげかけながら、ともかく終った 祭門にはそれがない。我々は植家 い社会に宗旨を高揚する会であり 本年の総会は、いくつかの間を





◇新役員紹介◇

一神のつどい運動」を継承しなが

全曹青の連携は、まさしく、と

松倉事務局長任命さる



青副会長、同十五周年記念大会宝 学仏教学部卒。本山安居。群馬曹 **寺副住職。昭和四十一年度駒沢大** 松倉 鉱洋 昭和二十年一月生。群馬県光敷



▼副会長

卒。元高等学校教諭、大分曹青役 寺、三十五年度駒沢大学仏教学部 ▼副会長 昭和士三年八月生。大分県覚婆 有延 美明

東京グランドホテルは静けさと安すらぎの

務所副所長。

学部卒。本山安居。愛知県第二宗 寺住職。四十一年度駒沢大学仏教

昭和十六年四月生。愛知県勝落

佐藤 泰惇

▼事務局長

ン打ち緊張感をもり上げることが

青年僧よ、坐禅に取組め

なんとなく食いつぶしの観念が昔

ない。いろんなところでそうであ りまして、いろんな話をする機会 いうのは、経済的なものに関係が時分、今の高田氏は、副住職でお

南部といえば、学問寺であって

総持寺祖院単頭 板

行するものという観念がある。 ませて我慢を強い、警策でポンポ 坐ることは大切なことにちかい も自然で豊かなものであると言い 切った様子。全寡心を開放した日 も心も一番リラックスして安心 ゅうくつなもの、精神を鍛えて修 型の如くキチンと威儀を正し 私に言わせれば、坐禅とは、 しかし慣れない足をムリに組



決着を与えた。 両講義内容については、後日本

者やインテリ層を魅きつける切札 ないと敢て断言しておきたい。 門を訪ねて来るのである。 坐禅と高うと、大変厳粛で、き

知れないと言う期待感を抱いて禅 どうにもならない心の渇き、むな ズバリ言って宗教ばなれした若 **坐禅をすればどうにかなるか** 宗門にあっては坐禅以外には

理屈や物や金や写楽だけでは、 示数はなれしたと言われる若者

やインテリ層。実は彼らこそ景も 込んで来るところに特徴がある。 **塊の敷務を求め、かつ必要として** のに、どとからともなく次々に申

しかも宣伝らしいとともしない

| らなくとも、いつしか落着くよう| 最近は、心理学者や精神医学者一る時期ではない。坐禅と言う一点

参禅者が押答せて来る。日本国中 んけでなく外国からの申込みも多 自然に精神がスキッとして来る。 まっすぐにして娯坐しただけで、 を持っている。 気を落着かせようと自分からあせ|確信している。

のように個人や学校や会社などの

大本山総持寺の場合について営

日曜参禅会はもち論、連日

たとえそとまで微し切れなくとも る結果になっていると思う。

坐禅の究極は安心解脱にあるが

|って来るにちがいない。

ところが坐禅会だけはちがう。

におばあさんと言うことに相場が

お寺のお指りは、お年寄り、特

たろうか。

きびしい坐禅修行と自分も思い、

きいきとした健康人になると私は 坐禅と言うと、お師家さまの家

らわれて足をヒッパリ合いしてい

|身も心も風通しのよい、コダワリ | って、お互に批判し合うきらいが | た。その讃美の辞は知っているか のない人間にする微妙なはたらき
あった。今はそんな派閥根性にと
一敢て「坐禅に取組め」と最もきび になっている。坐禅のあの姿勢が 風とか室内とか微妙なチガイがあ | 接し非常に感激し頼もしく思った ・問う次第である。 |大徳の良識に満ちたもり上がりに しい策励を以って請大徳の覚悟を 青関東地区集会に参加し、若い訪

≪問われる宗教者像≫

||関東集会終る||

うべき杉山 | 頭先生の | 絵巻物に ナーは、全曹青の常勤講師ともい い数化論を探る=と始されたセミ 協力をえて無事円成した。 員長のもと、 地元曹青の絶大なる 配されていたが、殿城玄瑞実行委 を占うものとして、その成否が心 ーは、首都圏での曹青活動の今後 東地方集会並びに巡回教養セミナ ことに問われる宗教者像 三新し ఫ

| 修学旅行は三分の一ぐらいしか行 都で食いつぶしばかりがあったか ったしとがないですね。かつてのいる。 寺なんていうのは、その当時から 特に南都みたいなところに――南

いう感じを持ったんであります。 て、やっぱり南都というのは、景ものも出ておりますが、やはり布 が出る。けれどもこの臍のものを中の反派であります。一つの典型 かないようになっております。収 というとそうではない。今の高田 一汁1一菜の粗末なお膳を思い出し

今でも我々は、この学問をすると、世事だと申しました。程が学生の 気がよくなると食いつぶしだなと一数活動というなかに、そういうエーな人達を彼は確実につかんでい ネルギーがあった。私は南都は学 彼は、何万人の写経という形の る。とれは写経という運動の中に も、いろんなところで働けるよう おいても、

企業復興の中における 送が、今、中堅とまではいかすと だと事業にはむかんですよ。

8

すが法降寺なんかの場合は、 走になった記憶がないんでありま

去る三月八・九日の同日、千葉一たことがありますが、今度は二の 東京に帰って1 展程で駒北にな

存林寺を主会場に開催された、関一贈がつくんですね。これは繁いた。こ、巡しかけてきて、今度は下か しい問題をもっとも単倍な形で、 と軸定になっても、おいしいと思といっていいくらいの力をもってきた。そして、三十七・八年頃にれない。いい男で、なんとなく気と、五十年とか三十年なんていろ | 寺に大仏さんを見るか法隆寺をみ 年のもつエネルギーというような 番のねらいを二十七・八年町から | ですね。復興というブームの中で ら、つき上げられるのじゃないか しかもお年密りを相手にしないと った例だろうと思うのです。 入がまる含り違う。だから二の臍 好魔氏なんてのは、食いつぶしの ることを勧めておったんですが、 | 法隆寺、修学旅行といえば、東大 と心配しております。そういう青 いろんじゃないですけれども、一 この西ノ京の薬師寺とか唐招提 食いつぶしという概念というのが をやった。私たちは好魔師に、ジ がごさいます。我々も背柿でなく ものがささえになるんであって、

将来肯っであろう人達に働きかけている。ああいう人が生きていてまさしく罪人です、けれど常に決 後は一方において、ずっと続けて というのはしとけられないかもし 器時代から、今日までといいます ど、そんな事よりも今のうち勉強、れは大変なことです。私ははっき、社会の中におけるルールにしかす 中学生であり、商校生であった人だてがよくて、力がないという人のは年代のうちに入らない。 しなさいなんていって、学侶になり申し上げておきたいのは、こうぎないという場合が非常に多い。 ャリ相手といっちゃ悪いですけれ 実にものすごい顔をふたりともし 皆さんに見てもらうわけですが

いうアクの強い人間でないと仕事 我々のように歴史といっても旧石 の問題というのは、色々かかえて、味というのは別のととろにありは んに学侶であることを要求したい いますが、学侶の問題。私は皆さしないか。この一つの問題が実は 私は今、僧侶の中における一つは、なんの意味もない。本当の意だと事業にはむかんですよ。いう年輪をへて消えてしまうもの

たろうなという感じの人です。と問が、ある時期に実に都合のいい あの人と仕事をしたら、いやだっ められた法制なんていうものは人 重演、収穫という人の中にある。

ください。

|腰のすわりをキチンとして背骨を | る患者に、坐禅や禅寺の規律正し | をしぼって一途に努力してもらい べき宗門人にさえ坐禅を敬遠させ一で安定した姿としての坐禅を、科 また他人にも思い込ませていない。ターを示して発表している。やが これが本来は坐神のプロである。はなくて、人間の身心の最も正常。とみるであろう。時代や大衆に迎 師に参加された感想をふまえ、全曹青への提言をいただいた。 た。先般開催の関東地方集会には、地元を代表して、大木山総 特寺で雲初教育につとめられた板橋巢宗老師が参加された。老 般の宗侶の参加を得て、全曹青活動の何たるかを見ていただい 宗教ばなれした大衆のために すでに開催された地方集会には青年宗侶のみならず、広く一 が坐褲のスパラシサを科学的デー い生活をさせれば、その大半がい 学者が全世界に紹介する時代かや 現在精神科医に厄介になってい一禅の大衆化を核とした運動に焦点 、仏教のなかの禅宗の坐禅で | の正流として大きな意義ある発展 橋 だけで、みんなが大同団結して一 させるときである。 人でも多くの人々に呼びかけ実行 宗

した運動だけに終っては、青年会 合して目先きの変ったお茶をにご とする青年会であってとそ、宗門 の将来は予測がついてしまう。坐 にまともに取組み真剣に生きよう 以来の正脈であるから、この正脈 力が芽生えた。坐揮とそが御朗山 幸に曹洞宗青年会と高ら新しい 化財研究所、春日の二の鳥居のそ

過日総持寺より派遣されて全曹 一で飯は麦でどざいます。これはあ |ですけれざも||壮||薬ぐらいに、 ますから食糧事情がよくなった 一屋が出る。その当時のととであり | きり覚えておりますのは法隆寺 に、ロートルをおびやかしたとと。主であります、彼の著書でおわか ばにある、そこにおったんです。 守の調査にまいります。これまた い。それから、すぐそはの所招記 まり当時といえども上生ではお れども、そとへ呼ばれていってお たあとで再建途上にありましたけ です。その ないしは呼ばれていく。一番はっ そして方々のお寺へ調査に行く。 分の法除寺は、焼け

の精進にやっぱり沢庵が出る、そ で飯が出る。そうでなければ本 どきが一盛りあって、どんぶりで その日によって、ひじきとかんも まして、次施が山盛りと一菜が、 提等の場合はそれ以後行ってご贈 法隆寺の方がまだ少し上帯であり ういう食事でございました。唐叔

その3 大衆教化の接点

東京国立博物館室長

非常に有難い――重新という人、 い一面というのも聞こえてきて、 なかなか他山の石になりにくい。

りだろうと思いますけれども、難 頻を考える実にいい材料と、それ では、なかなか短絡的に人間の是 からまた、悪い部面が消えてしま。非を判断することは出来ない。 とういう意味では、

歴史上の人物

れは一つのレトリックであります いろんな雑音が入って来る。乃至すけれども、これは仏につかえる 都勒という人は、実はそういろ間、な形の中に出てくるかという意味 ――とれは生きてないというのは レトリックですけれども、そうい はいい一面もあるけれども良くな 身としては、そうあってはならな う事柄が、五十年百年、どのよう かけているとお考えいただく、と い、どとかで皆ざんは奴隷になり 今の法制史中で、あるいは、

会のきめたルールの中で洗脱して いることを、罪人であるとすれば 仏弟子、周梨槃特(チューラ、パンタカ)さま のお名前をいただいた株式会社 いつでも、どこでも骨身を惜しまずに働

きます。どうぞ "ぱんたか" へお声をおかけ

関係(株)ぱんたか TEL981-1781

まで奈良におりました。奈良の文 南都の庶民信仰

辻哲郎なんていう人が書く以前は 正明、昭和のあるところまで―― 田よっていた。丁度、明治から大 食いつぶしの名人みたいな人か沢 からあるところなんです。先ほど 本当に資素な生活をしておっ 西、戦器な生活をしておったというと、上にいる連中をつき上 ていく、こういうところが非常にかと思っております。それ以前に するといやな顔をして、お金がな いらのは、長老の稿本凝塵師。 こ している、偉い先生はお金の話を学侶としてどうも大成しない。と い、ないといいながら、なんにもの方は法相の中における唯識とい ります。

私もいろんな学会に関係

がありました。

その時分から彼は いで、だんだん会が新少され

は、そのお師匠さまの佐伯定胤節 う問題を講する最後の人ではない

私は昭和二十九年から三十五年とこでもおとなわれている。青年っことを私に話しておりましてて 会というのは、この曹宗初青年会の頃から、少しづつ来はじめた修 も渋いぞという訳の会を作りましって説く、実にたくみな頭の持ち にごごいまして、我々のところに一様的に働きかけたわけです。 だけじゃなくて、いろんなところ。学旅行の若い人たちに彼は実に初 げる。丁度信さんみたいな事が、 竹柿会さいいまして、食って

だんだん若手が出てまいりますという情長がおられましたが、と やはり新しい形でいかなきゃとい の決相を、わしゃとてもつげんと 彼の話は、比喩および方便をも に短絡的に一時のうちにしとけてですから言葉をかえていえば、 るをえない。ですから何かを非常胆元ですね、そのふてぶてしさ、 間としての面白さ、魅力を感じざ は動進型という形体の中における をしとけるというようなことの人 味では、私は彼の長い年月で何か一今ではとても通用しない。

みておりますと行動様態の中で、 みる必要があると思う。 すべて是認はできないにしても、 ードってなんだってという声が出

よかろうと、彼を他山の石としてきわめてヒステリックな感覚で、 か面白い人物として一つ注目して「告さんが一般庶民的な感覚乃至 尚田好願なんていう人は、なかなのだと思います。 ない。との熱意というものは、今 いうものを皆さんは、おそらく軽 けれども、人間というのは存外 この辺で申し上げておきたいんで それを指揮なさるとすれば、私は というのは、それらを包摂するも 度はなさるまいと思う。仏のみ心

トして、あと二年ぐらいでロッキーていうのも、なんとなくあの坊主 みたいな問題もやたらエスカレー 面だましいをしている。 児玉なん 的な例でありまして、ロッキード いなんていうのは、なかなか偉いしまおうというのが日本人の典型 の小佐野なんていう人の面だまし やすくまたざめやすい。それは本るんですね。顔だけでなかなか判 るんじゃないかと思うくらい熱し誰かに似ているようなととろもあ 当はある事業をするということは「断できないですけれども、しかし 矢は終意というととがないといけ
あおいうこの人間のもつ悪ささと 頭にするというと昔の高僧の中の

即ちどうじゅうとして、あるい

装盤が一体どとにあるかという意 けれども学侶だけの食いつぶしは

オリエント発掘調査か ら帰国された杉山先生

毎縁日

4日

14日 24日

東京•巣鴨

電話(917)8221

寺をコミ ユ ニテ 1 1 の場に

のの約二倍を見込むなど、大規模算では、会費収入などで昨年実績

めたものといえる。 動全般からみれば、かなりひきし なものとなっている。がしかし活

韓国文化交流団、伝 道提示板

曹青連線入金、**預金** 利子等

四云宮 総合企画委員会費・ 事務局費・事務諸費 地方集会・セミナ費 開催費・活動促進費

禅のつどい研修会開催費

曹青通信発刊費

立し、愛知県第一曹洞宗青年会と

髪知県第一宗務所管内で、緑臨

して再発足した。 総会において、同会を発展継承独 神心会青年部は、四月二十三百の **弾のつどいを中心に活動していた**

お

活動方針予算など成る

石附周行君を新会長に選出するな | 具体的タイトルとして、 "お寺を | ている。すでに開催した地方集会 全曹青総会は去る五月二十日、宗務庁大会議場で開催され、五十二年度予算案など、すべて |針の拡大とし、メインテーマ「大 |・北海道・中四国の四地区で今年 度中にすべて実施する計画をたて からは、地元単位曹青の主体的活 面を強調し、大衆との接点を求め リエント茶会の開催は、禅の文化 |ナーが開催されるなど、前年度方 針が成果をおさめていると考えら

> たが、門原会長を全曹青顧問に就 現執行部の再選の声もきかれてい

公員中

昭和51年度決算報告

1, 233, 000 3, 628, 890

1, 434, 000

198.024

585, 271

941,695

318, 180

307, 835

200,000 68, 318

144, 815

大本山水平寺名古屋別院は、 溝濱会を開催した。当日、会場の

時半より、発会式および、記念 新発足を記念して六月九日午後

現代文明と禅」と題する弟子

た管内青年宗侶の活気であふれ

1, 299, 560

既報の通り、五月二十日開催され

全曹青五十二年度総会は、一面

の案件を、理事会、評議員会の決議をうけた原案通り可決承認した。

五十二年度の活動方針は本紙第

残すととろ、

。地区連絡協議会を主体とするセミ 動として地区連絡協議会が発足し コミュニティーの場にを決めた。 衆數化の接点を求めて」をうけ、

主な活動である、地方集会は、

東京グランドホテルで実験的に開 1を中心に六月十八日、十九日に | ようとする運動で、理事会メンバ 催し、その企画途上の経過報告 新教化事業の開発を目指す、オ 新執行部とした。 たに大分県の有延美明君を選出し 副会長にそれぞれ昇進選任し、新 長を、佐藤泰惇君を事務局長から 任させ、会長に石附置行前副会 なお監査委員に、藤井大吾前副

1、会費収入

4、雑収入

5、前年度繰 越金

組織拡充

広報費

予 備 費

を興味深く聴講した。 丸泰仙ヨーロッパ開教総監の講演

5、 6、

晃禅君、事務局長に大洲久典君の

禅のつどいポスター出来

丈君、副会長に丹羽賢孝君、

なお新役員は、会長に長谷川マ

や、成果を各単位曹青にデータと 会長と北海道の荒沢義範君が選ば

当日、石附新会長は、事務局長|事務局の陣容も新たに、昭和五十|に、群馬県の松倉紘洋君を任命し一二年度の活動を開始した。

地方の活動状況

団の派遣は昨年の韓国の成果をふ

さらに国際仏教文化研究の視察

大槌町江岸寺を会場に、六月十八 (須藤公文会長)では、上閉伊郡 業として、坐満の設置運動を展開新発足した岩手県曹祠宗青年会 東北地区連絡協議会では、新事 総会・教養セミナー開催 <岩手県曹河宗青年会>

坐蒲の設置運動を展開

東海地区連絡協議会発足

〈東北地区連絡協議会〉

各地区で全曹青活動の主体的協力

東北地区連絡協議会の結成後、

山口県曹洞宗青年会(松岡秀雄 フィリピン戦跡慰霊団派遣 第四

〈山口県曹洞宗青年会〉

作した。年々を大化する禅のつど

年に引き続いて統一ポスターを製 っているが、その一環として、 つどい開催に際し、援助活動を行

山田義徽君 古岡博道君 伊藤文元君 松井孝順君 宮本洪純君 倉島出行君

<愛知・三重・岐阜・静岡>

日十九日の二百間にわたり、総会 している。 した」と語っている。 か悪いのを憂え、との事業をおと 坐禅用の坐満の普及率は思いのほ 禅会が盛んに開催されているが、 東北協会長の天野宏雄君は「坐 と活動促進のための連絡協議会作

を派遣する計画を進めている。

|望で昨年から統一ポスターを下付 が、全曹青など関係団体の強い要 この経費給出に頭をいためていた しめる割合が高く、主催団体では い予算の中で、ポスター印刷費の

程で、フィリピン戦跡慰憲法要団 で、十一月一日からの四日間の日 会長)では、県下の梅花講と共催

と教養セミナーを開催する。

| 個が二子円で十個以上の注文 | ととになっている。なお、今後全 この坐蒲は、純正パンヤを使用 | で会合をもち、親睦交流をはかり 日、東海地区連絡協議会が正式発 ながら、全曹青の活動を支援する 一協議会は年四回、各県もちまわり 足した。 りが進められているが、五月十三 十三日に発足した東海地区連絡

意義として、宗門宗侶の世代も交 て追体験することにあるとしてい の痛みを自らの主体性の問題とし 宗侶にとって、戦跡を慰霊、戦争 になりつつあるが、そういう青年 代し、戦争を知らない若者が中心 青年会か影響法要団を派遣する

成につどい主催団体からの下付申 や会場・申込先などが記入できる 催に当り、実効性のある開催日時 イメージポスターから、つどい開 が期待される。統一ポスターの作 催される種々の禅のつどいに効果 ものにかえられた。全国各地で開 している。 「新しいあなたの仕発」と難した 今年度のポスターは、昨年度の

内容見本をご請求下さい

価格未定子600ページ

東京都港区芝2-曹 洞 宗 宗 務 庁 内 〒105 Tel 03-454-5411 曹洞宗全書刊行会

予 定

5月19日 理事会・評議員会開催 20日 昭和52年度総会 オリエント茶会「シルク ロードにむすぶ茶と禅の つどい」開催、東京グラ ンドホテル

6月25日 九州地区地方集会、第5 26日 回巡回教養セミナー開催 大分県青年会館

7月 各地緑蔭禅のつどい開催

8月 9月 北陸地区地方事会並びに 巡回教養セミナー予定

10月6日 北海道地区地方集合並び 7日 に巡回教養セミナー開催 中四国地区地方集会並び 10月 に巡回教養セミナー予定

11月 オリエント茶会 11月12日

13⊟ 1月上旬 派遣 (インド仏跡)

東海セミナー 「大衆教化の接点を求め て」出版 関東セミナー

昭和52年度予算

3, 140, 000 5,000,000 1, 160, 000 550,000 144.815 13, 400, 000 2, 633, 600

1,480,000 200,000

特别会計助成費 1,500,000

会員のためにまとめて出版する計 小規模な派責団を組織し、韓国と まえ、インド仏跡を中心とした、 松点を求めて」の講演集を未参加 同様随行講師をつける。

総額を一千二百四十万とする予

曹青通信隔月刊行

し、日本キリスト教団・奥羽教区 ・大衆教化の接点を求めて」と題 十八日午後 再に開会し、「神

し、作家井上ひさし氏の母堂・ま 翌十九日は、「わが子育て」と題 総会議長の深谷修牧師の話を聴き 増さなっている。 す女史の講演を予定し、そのユニ - クな企画が、同県青年宗侶の話

類。 した、堅牢で使いよさが自慢。

和賀郡東 | 県名取市増田 | 耕竜寺内「坐溝設 に応じる。注文製作のため、注文 後一カ月後に発送、送料は注文者 申込気は、九八一一二、宮城

は次の通り。 愛知第一

会長が就任することになる、役員 曹青の理事には東海地区協議会の 会長

శ్య 活動の一環として、との慰霊法要 なお旅費は八万九千円(福岡空 仏教者として、真に平和を願う

南陽市富田平野 祥雲寺内、事務 | る。無料下付だが送料は主催者負 は募集人数によって決められてい 担とのとと い開催申請が必要。枚数について し込みが殺到している。 なお下付に際しては、禅のつど

第二 佐野令彬君 河野純香 竹俣番明 菜社裕光

百七十五名、詳細は、「四六 港までの旅費は含ます)。定員は 愛知県一曹青新発足 会長に長谷川文丈君

茶席係

弑焼

尾輪邦彦 南敬爾

梅田光洋

講演会保

鈴木永城

いたが、総会での正式決定をうけ 業の一環として開催準備を進めて ことから、各方面から大きな期待 事務局長 松倉紘洋 長)では、全曹青五士 | 年度の事 つどい実行委員会(佐藤泰博委員 シルクロードにむすぶ茶と禅の 同様企画で実施されてきてもいる 副委員長 有延美明 群馬曹青、尼僧団東京支部などで実行委員長 佐藤泰林 がえ、山口、禅の文化をきく会や 興排院内 事務局へ 会長 石附周行

3月

岩本禅師ご退任

がよせられている。 茶と禅のつどい

岩本勝俊大本山総持寺賃首は、五 | て本格的な委員会講成をしき、万

とのつどいは、六月十九、二十

全曹青の名誉総裁でもあられた

禅の文化的側面をとりあけ、新代表者の参観を希望している。 全曹青珥夢を中心に書りあてられ 同委員会では、当日の配役は、 6月18·19日開催 総務 有馬実成

る五月二十一日、引退の意志を表 今年一月より、本山に帰山され引 日本医科大学で入院加擦ののち、 十一年一月軽い脳血栓で倒れられ

各単位曹青に提供する計画。 緯とともに詳細なデータをとり、 企画・運営・経理に関する途中経 ホテルで開催されるが、この会の 日の両日にわたり、東京グランド 全を期している。

寺に入られ、静養につとめられる た。ご引退のあとは、駒込、吉祥 修を以って引退されることになっ 明され、来る十月十五日両祖忌厳 きつづき静養中であられたが、去

受付案内 完木哲英

天野宏雄

塞岸秀哉 整川敬学 山路純正

用元一雄

墨斯

警備



予約限定出版

第31巻 *大系譜 第32巻 *大系譜

2巻1組 57000円 (体裁) B 5 判 特製本貼箱入 表紙麻布装 天金仕上

宗教法人がもっぱら宗教目的に

れば、固定資産税を払う必要があ

とされているのであるから現在の

る施設がもっぱら宗教法人の本来 宗教法人立の幼稚園の供されてい

めの収益を目的とするようなもの とされています。

公告をしないで為した行為は無効

となります(法第一四条)がこれ

同じ駐車場でも、寺院経営のたなりません(法第二二条)。この

を示してその旨を公告しなければ

は境内建物あるいは境内地とは解

の用に供する施設と考えることは

まず第一に、税制上の問題があり がどう意味をもつかといいますと

供するところの境内建物及び境内 るのではないかということです。

地には固定資産権が譲せられない

教法人の目的のために必要な当該

宗教法人に固有の土地をいいます

る宗教法人法第二条に規定する境

(1)境内建物なり境内という。されており(同法第三四八条第二) 育法の規制を受け、同法第七八条 おいてごく普通に見られる信者の 模様書、用途の変更、宗教用目的

内建物及び境内地」であると規定 法人立の幼稚園といえども学校教 のための駐車場は、「宗教団体に 新築、増改築や、境内地の著しい

あててなされた答弁では、「宗教 うことで、とれについては、信者 保に供したり、主要な境内建物の

田

円

供する」境内建物、境内地にあたの保育内容は文部大臣の定めるとするものとして宗教法人法第三条なくとも一月前に、信者その他の 宗教法人が「もっぱら本来の用に ばならないとととされ、かつ、そ 物を含む)の用に供する土地に敷 うとする場合には、その行為の少

るかということです。あたらなけ
とろによらなければならないとと
に該当する境内地と解せ
こるもの
利害関係人に対しその行為の要旨

ために用いられる土地等前述の一

その 他導厳又 は脳弦を 保持する して用いられる土地、庭園、山林 建物が存する一画の土地、参道と

いい、境内地とは、右にいう境内

法人に固有の 建物及び 工作物 を 人の目的のために必要な当該宗教 信者を教化育成するという宗教法 現代布教の問題点

関 Ш 和 夫

教で、数々の大衆芸能や大衆文化 | であった。この冷たい"教養』が | いってもよい。伝統に依存してこ 今一つは、通俗的な庶民対象の布 | たのは『教養』という冷えた姿勢 | 再検討しようという動きは皆無と を一体とする庶民の生活構造の中一史に裏打ちされた肉褶が根敷く残 ーソドックスな教化の系列であり | 形骸化した。 そして今日に残され 粋の経典講釈、教義の解明で、オ|蔵人の分析好きによって否定され けて二つの系列がある。一つは純 がたいという俗受けする通俗説数 | にあって現代の布教が如何にむず | 舞の出現後であるが、説教史の上 った。宗教・芸能(劉薬)・生活 | せ、宗門や寺院生活には、長い歴 | 癩点ではなかろうか。 列よりも第一系列の方が盛んであ して伝統宗学は影が薄い。そのく 伝統の喪失は、現代布教展大の問 ある。前近代の社会機構の中では一退し、学だけが表面に出る。しか を生んだ"情念の説教』の系列で | 幅をきかせる現代では信と行は後 | こ成り立つ既成教団が、布教上の 一般庶民対象の布教は右の第一系 | もその学は近代 学問が 落に 優先 | 新布教是考えても無理であろう。 日本仏教の布教史は、大きく分一は気がすまなくなった。かつての一心に布教の伝統や注り方について わかり易くて楽しくて、あり | る。との矛盾だらけの日本仏教界 | をもつようになったのは法然・親 | うな精神が僧侶の心の中に潜在す 「情」かしいかは論をまたない。 |日本の庶民生活の構造は、近代知 | 研究し、すばらしい実践活動をし

とこるが、近代合理主義の洗礼|布教家諸師にお目にかかり、應服|た。安居院流と三洋寺派の系列は したり、失望したりすることを繰一俗化して芸能風の節づけ説教を演一ろうが。聴衆は音ながらに本堂の 究のため全国各地を歩き、各宗の であり、演説体説教は隆盛を極め

では天台宗の澄癒・聖覚の安居院 | へのアプローチだのということは | わが国の説教が最も強く庶民性一のすぐれたジャンルを蔑視するよ

伝統再確認の作業を全然しないで ておられる方も多数あるが、教団 の体制側には布教の歴史や伝統を | 例が機能するのは明らかに誤り 一般大衆が最も親しな芸能文化を より説教は芸能ではない。しかし 通俗芸風説数は不要である。もと 進歩した今日、節談説教のことき るのではない。近代学問が著しく を誇示する連俗説教を現代に求め 必要がある。 であり、不遜もはなはだしい。他 しかし、私は耐芸に徹して能針

って果して布敷は進歩し得たであ テーブルと椅子に変えることによ

のと合流し、数々の民間芸能(平曲 なければならない、ことに仏教と 会伝・ちょんがれ・浪花節・講談 ・絵解き・物語・説経浄瑠璃・歌 つきを見ることができる。その史 庶民生活、説教と大衆の難い縒ひ 义化史を論ずる場合、特に注意し ・落語)が生まれたことは、日本

講される。本紙では当日提起さるれであろう「現代布教の問題点」を『大法輪』今年五月 つセミナーには杉山一郎先生の外、説教研究の泰斗、関山和夫東海学園女子短大教授が出 穴日にわたり、大分県青年会館を会場にいよいよ開催される。「日本仏教意外史」と銘打 着々と準備が進められていた九州地区地方集会と巡回教養セミナーが六月二十五、二十

的事実を現代人は今一度確認する

の成果は、達せられたというも つた膨高経などもある。「かる し、日本仏教の意外な一面を知でとぎつけたことによって、そ によつて中は崇能化されていつ 時、彼らの担つた役割を再評価 力がおかれているが、開催にま 設立趣旨の徹底と会員拡大に主 が実って実現となったもの。 大会は従前と同じく企曹凊の

九州集会開催予告

膜神院内

大分原大分郡為布院町

事務局 一八七九一五 会黄一万円、(申込金三千円 雲山北。

申し上げます。合

より一層の精進をいたしたく存じ隆に寄与いたすことをモットーに警問は今年も書物を通じ仏教興 に御指導御鞭撻の程宜敷くお願いております。これを御縁に今後共

教意外史」と難して企画され、 脱れと芸能を中心に研修する。

「説教と芸能」と願されたセミる。 巡回教養セミナーは「日本仏 話などは、日本人の心の奥に焼 う。

「返してきた。むろん個人的には熱」じその方法から派生して他深のも「畳の上に正座して合掌し、布教師」ある。学問や論理が優先して情念」の日本仏教各宗の布教は、そもで 私は、こと何年かの間に総教部「産生を门の三年津梁が出来とから」到底では能である。説教の帝医を「ともしては、何の新鮮味わない」端に減少したのは特定業実に協図「水・鷹忠の秦夷、新時化に加む」しないと私は思う。私は日義教の るようでは、社会教化だの、大衆 | 賽銭集めだけは昔の通り行われて | 説教の迫力は 減退する。昔と比 | 至った歴史的精神への正確な復帰 説教には"情念"が絶対に必要で | 来していることを示唆する。現代 「説教」を「法話」とて変えてみ | 較して現代寺院の法話の聴衆が極 | と現代的精神による精密な伝統継 | 時代の布教法を樹立しなければな だけ椅子に腰かけて語す。そして一が失われると感銘度が稀薄になり一もの説教成立期の状態から現代に一大いに学ばねばならない。 旧説教 信仰は学問や理屈ではない。 | 意味で現代仏教に重大な危機が到 するところが大きい。これはある一た鋭敏な感覚による末来への発展一復活論者ではないが、現代の布教 れぞれの時代に適応した『文化』 の姿勢が必要だと私は考える。 を創造することができた。それに 日本仏教の布教は、一貫してそ一を持たれることを切望する。古今

の表示がなされるのは「境内に属 のです。不動産登記事務取扱手続 は、「境内地」と表示出来ないも 上は境内地であっても、登記簿上 む)」とされており、宗教法人法 教法人の所有に属しないものを含 **写及び第三号に掲げる土地(宗**

は疑問があり、昭和三七年におけ たのは、信者のための駐車用地と れず、他に宅地も山林も、ビルも とができ、この登録をすれば、抵 不動産登記上、境内地という地目 理しておしつ名文は1」とより3、当するものははいが、右の条件 もっ意味の密(は、1条的に重要、ちでも、社様の前に従する維約)も例えば、本家が修復であっても、のは、独内集物、護内郷に二文學、整議を四人条筆 国際 びきょう 減り指す。漢代地につらないの。ことは、現代維物、護内郷というのとない。ことは、現代維物、護人は自動します。 の本質とは了き場合になっても、それだったのに同じられているも、できたいとされて、たか、こ地プロ・セスキャン・ して土地を買入れた場合、法第三 あり得る)又は財産目録(法二五 当権等の実行のためにする場合お 登録免許税の関係で問題になっ 不動産は境内建物、境内地に限ら 旨の登記(法第六六条)をすると 準則第一〇三条(ル)によると、 地を含むが、宗教法人の所有する 供する建物及ひその敷地である」 よび破産の場合を除くはかは私法する土地で、宗教法人法第三条第

青

何か境内地とは何かを定めておりてです。

という) 第三条は、境内建物とは 寺院でもやっている幼稚園につい

(一) 宗教法人法 (以下単に法 し問題になったのは、殿近どこの 宗教法人法入門

の教義をひろめ、儀式行事を行い、資産税が免除されるのは「宗教法

人がもっぱらその本来の甲に供す

る大谷養雄参議院議員の質問に対

する内閣総理大臣の参議院議長に 条にいう境内地になるか否かとい 条)に掲げる宝物を処分し又は担

境内建物及び境内地について

法によると境内建物とは、宗教いいますと、地方税法により固定

どういう点が問題になったかと

用に供する」境内建物といえるか

れます。しかし「もっぱら本来の

非課税になりました。

通

を受けた現代人は、宗教と芸能、 緒に生きる人間の歴史から見て当 が布数史の主流を占めたのは、

(娯楽)と生活とを分離しなけれ

出来ません(法第八三条)。 上の金銭債権によっては差押えが、関、山林その他尊厳又は風汝を保 持するために用いられる土地(同 上の儀式行事を行うために用いら のがあるわけです。つまり、宗教 れる土地(法第二条第四号)、庭

事

他の建物とか宅地等と異なる区分、項第三号)、右に述べた幼稚園で、に掲げる目標の達成に努めなけれ、ための休憩所に類する施設(工作、以外に供するとと等の行為をしよ、境内地の区別の意味をご理解いた。密接な縁が示る土地(国第六号 ないのであって、ある宗教法人に 摩袞記簿を見るだけではなく、そ行」又は「占有」している必要は 内地がそうでないかは、単に不動 ものは、何もある宗教法人が「所は表示出来ません。ですから、境 ために、境内建物、境内地という るが、登記簿上は、「境内地」と だけたと思いますが、最後に念の 号)は宗教法人法上は境内地にな 「固有」のものであればいいわけ (三)以上によって、境内建物 第五号)、歴史、古記等によって 「固有」とは宗教法人がそ の実質に則して判断する必要があ

> 月五六日 総合企画委員会開催

会場を実行委員会で下見 関東地区地方集会のコース及び 於宗務庁会議室 十一名出席

戸日

*内容見本御希望の方は御請求下さい。

(お申込・お問合は青年会事務局または三宝書院まで)

催 於千葉市海藏寺 十名出席 関東地区地方集会実行委員会開 曹青通信第四号刊行 一月干台

一月干百 **関東億区評議員会開催** 田干田

於宗務庁会議室 十五名出席

一屆王音 戸八日

関東管区評議員会開催

於宗務庁会議室 十一名出席

催 於千葉市海藏寺十一名出席

関東地区地方集会実行委員会開

催 於宗務庁会議室 八名出席 禅のつどい中央研修会準備会開 催される。との開催については 日、大分青年会館を主会場に開 説教が行われてきたが、説教も ったか。 方集会並びに巡回教養セミナー 衆の教化に、説教が有力な手段 語りの中に、日本人の宗教情操 開催が延期されていた、九州地が多いかもしれぬが、従来、民の琵琶法師が踏る哀調をおひた 九州という地域事情のため、 ナーについて意外に思われる人 のといわれながら漂泊の人たち
全曹青が大衆への教化を志す

そして現在、九州に残る盲僧

を解明していただく予定。 には仏教におるを教化の諸形態

六月 下吾~ 下台

館を主会場、宿泊はホテル白 別府市上野口 大分樂青年会 詳細は次の通り。

地元九州各県の曹青の協力態勢 日本仏教意外史

が彼らによって行われたのであ 教授を招いている (講演紹介は

上記の通り)。また、杉山先生 聴講できる。

きつけられた説話で、ほとんど 講師としては説教研究の関山 想氏)や関山先生の「民衆との

一頒布のしおり一

着本後の郵便振替払 ●高額書籍は分割払の用意有

かや丸」「さんしょう太夫」の ることは、意義深いものがある なお、大分県青年会館での1 時 対話と慟哭」の溝濱は、 半からの盲僧琵琶実演(一岡清 大会本部長 本多敏男師

の悪しきを捨て、善きを取って新

や生活態度には現代に通用しない ない。旧説教者たちが扱った題材 衆から海仰されることは容易では 複雑な現代社会で布教家が一般民 かつて前近代の説教者たちは、宗 重の姿勢がほしい。現代法話には 旨とした見事な布数技術の伝承は一またない。 厳しかった修行態度や対機説法を | 前の重要な条件であることは論を 面が余りにも多いが、節資相承の一 務 の条件である。それが布數技術以 一教家にとって信と行は絶対不可欠 けている場合が多い。 「信」と「行」の復権である。布 さらに今一つ望みたいととは、 日 誌 (文資編集)

好評発売中

一くは宗門の指導者の方々に情念尊

にどれだけ資献できたであろうか

のものが、新しい日本文化の創造|教にも情念は絶対に必要だ。 較べて昭和二十年代以降の布教を「す情念が含まれる。日本仏教の布

学、政治、文学、芸術などには必 東西を問わず、すぐれた宗教、哲

界に対して是非伝統再確認の姿勢

文書伝道大事典 全国書刊行会刊

願わ

掲示・文書伝道名句の集大成・

アジア仏教史全三0巻 佼成出版刊 上製美装函入 定価五六、〇〇〇円

洞宗講義 全十巻 国書刊行会刊 曹洞門必須講義書の集大成!

ちこれさえ身につけていれば充分である。 振端なことを申し上げるなら宗門人を 振端なことを申し上げるなら宗門人を を抜きがしたい貴重な本である。 が、寺族は勿論のこと宗門一般復徒の かった。 (主本·弘哲寺住職)深沢正 司

20 -

残部僅少!!

全體青班學公開催

於宗務庁会議室 十六名出席

ー読者の声より(抜)ー

有難い永遠の書というべきものはない。有難い永遠の書というべきものはない。該者にとってこんな出すに違いない。該者にとってこんない。「ないない。」ではいる。「ないない。」ではいる。「ないない。」では、一

(計信等住職 對所長) 吉田常俊。

A5判。上製函入。天金背皮継表紙